

地理歴史科・公民科（地理総合）学習指導案

1 単元名 居住地の地域的課題とその解決策の構想
この単元は「2 内容」の「C 持続可能な地域づくりと私たち」の「(2) 生活圏の調査と地域の展望」に該当する。

2 単元目標

- (1) 身近な地域の魅力や抱えている課題について理解する。
- (2) 統計ツール、新旧地形図やデジタル地図などを活用して、地域の特徴や主題図やグラフなどを表現する技能を身に付ける。
- (3) 事前調査や現地調査で明らかになった地域の魅力や課題を踏まえ、地域の在り方を分析・考察し、身近な地域の将来像を構想できる。
- (4) 身近な地域について、その地域の抱える課題やその解決策を主体的に追究する態度を養う。

3 単元計画(全体5時間)

(1) 指導計画

- ・身近な地域の魅力と課題 1時間
- ・事前調査と仮説の設定 2時間(本時1/2)
- ・現地調査と解決策の構想 1時間
- ・調査結果のまとめと報告 1時間

(2) 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・身近な地域の魅力や抱える課題について理解している。 ・統計ツール、新旧地形図やデジタル地図などを活用して、地域の特徴や主題図やグラフなどを表現する技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事前調査や現地調査で明らかになった地域の魅力や課題を踏まえ、地域の在り方を分析・考察し、身近な地域の将来像を構想している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な地域について、その地域の抱える課題やその解決策を主体的に追究しようとしている。

(3) 指導内容及び評価計画

(○…「評価に用いる評価」, ●…「学習改善につなげる評価」)

時	学習内容	ねらい・学習活動	評価の観点			(B) 具体的な評価規準 (C) 具体的支援	評価方法
			知	思	態		
第1時	<p>【学習課題】(単元を貫く問い) わがまちの魅力・課題とはどのようなところだろうか。どうすれば持続可能な地域づくりが可能となるだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の魅力と課題の発見 	<p>【ねらい】既習内容を基に、用意されたテーマの観点について、地域の魅力や課題について話し合う。</p>			●	<p>(B) 地域的課題について、中心市街地の衰退や郊外団地の空き家問題などの空間を意識した記述をしている。</p> <p>(C) 地域に対する視点を切り替えさせるなど、問答する中で気づかせる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート1の記述を基に評価する。
第2時 第3時	<ul style="list-style-type: none"> ・事前調査(地図と統計) 	<p>【ねらい】今昔マップやRESASなどを基に、地域の特徴や課題、変遷などを表現する。</p>	○			5(1)参照	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート2の記述を基に評価する。
		<p>ワークシートに添付された今昔マップなどの図を基に、技能を評価する。</p>					
第4時	<p>【学習課題】(問い)(周囲との関係性を重視して)ここはどのような地域だろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現地調査 	<p>【ねらい】現地調査を基に、その地域についての理解をより</p>			●	<p>(B) 地域的課題について、事前に調査した内容や現地調査で得られた内容を踏まえて指摘しており、その解決策を構想でき</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート3の記述を基に評価する。

	・解決策の構想	深め、課題の解決策の構想へとつなげる。				ている。 (C) 課題に対する切り口を切り替えさせるなど、問答する中で気づかせる。	
第5時	【学習課題】(問い) その方策が周りに与える悪影響はないだろうか。						
	・都市計画との比較 ・解決策の発表	【ねらい】各班の課題解決策を各自治体のまちづくり計画と比較・検討する。 【ねらい】身近な地域のあるべき姿について構想する。		●		【思】(B) 提示された解決策のメリット・デメリットが論理的に述べられ、議論がなされている。 (C) 周りに与える影響を問答する中で気づかせる。 ○ 【態】5(2)参照	・ワークシート3の記述を基に評価する。
	ワークシートに記述された地域の将来像を基に、主体的に学習に取り組む態度を評価する。						

4 本時の指導と評価の計画

(1) 本時の目標

統計ツール、新旧地形図やデジタル地図などを活用して、地域の特徴や主題図やグラフなどを表現する技能を身に付ける。

(2) 本時の展開

(○…「評価に用いる評価」, ●…「学習改善につなげる評価」)

	学習内容	学習活動	指導上の留意点・評価
導入	前時の復習	・地域の魅力や課題について再確認する。	
展開	・地理院地図の活用 ・今昔マップの活用 ・RESAS の活用	・地理院地図を用いて、調査対象地域の特徴を考察する。 ・今昔マップを用いて、調査対象地域の変遷を調べる。 ・RESAS を用いて、調査対象地域の特徴や課題を各種の統計データを基に調べる。	・地理院地図の使用方法を再確認させ、周囲との関係性を意識するよう助言する。 ・今昔マップの特徴をおさらいし、大きな変化が見られた図を1つ選択するよう指示する。 ・RESAS を用いて地域の特徴を複数のデータを基に調べるよう指示する。机間指導をしながら助言を行う。
まとめ	次回への展望		●ワークシート2 【知識・技能】

(3) 本時の評価規準

ワークシートに添付された地理院地図、今昔マップやRESAS の図(地域の特徴・課題・変遷)を基に、「その図が地域を理解する上で適切に選択され、記述内容に飛躍がないかどうか(B)」を判断する。達成できていなかった生徒がいた場合、次回の授業も同様の授業を行うため、地図の特徴などをおさらいしながらサポートしていく。詳細は以下の5(1)に記した。

5 評価問題（評価材料）及び評価規準

(1) ワークシート2【知識・技能】

ワークシートに添付された地理院地図、今昔マップやRESASの図(地域の特徴・課題・変遷)
評価規準
「おおむね満足できる」状況(B)と判断される例
・添付された図が地域の特徴や課題、変遷について適切に読み取れるものであり、地域を理解する上で適切に選択され、記述内容との間に整合性がある。
「十分満足できる」状況(A)と判断される例
・既存の学習内容を踏まえて地域を捉えており、論理的に記述されている。
「努力を要する」状況(C)と判断される生徒の例と教師の指導
・選択した縮尺が不恰当地域の特徴をつかめていない。→地図の特徴などをおさらいしながらマンツーマンで教える。

(2) ワークシート3【主体的に学習に取り組む態度】

ワークシートに記述された地域の将来像(課題解決の方策)
評価規準
「おおむね満足できる」状況(B)と判断される例
・身近な地域の将来像について、他地域や地域内での関係性を踏まえながら、根拠を示して表現されており、実現の可能性がある解決策を提示している。
「十分満足できる」状況(A)と判断される例
・解決策に具体性があり、それが与える悪影響への配慮もなされている。
「努力を要する」状況(C)と判断される生徒の例と教師の指導
・周囲への影響を考えずに大型店を誘致する。→考えられる影響やその緩和策などを問答する。

6 成果と課題

本校は瀬戸市、尾張旭市、名古屋市守山区、春日井市から登校する生徒が大半を占めている。そこで、まず初めに居住地(市区町村別)により各班2~10名程度で班分けを行った。その後、ブレインストーミングにより居住地の魅力と課題をできるだけ列挙させ、特にその課題について検討させた。たくさん出てきた課題点についてKJ法により整理し、その整理された課題点について事前調査、現地調査を実施し、解決策を構想しているというのが今回の授業構想の最大の目的であった。

しかしながら、居住地の魅力と課題を生徒にあげさせても、「コストコがある」「魅力となるものがない」「遊ぶところがない」などといったものが大半であった。中には地理的には無関係な意見も飛び交ってしまった。概して、住むのにはさして不自由を感じてはいないが、これといって胸を張るものがないため、「地域的な課題」と言われてもピンとこない様子であった。

本来、地域調査とは課題を皆で話し合う中で見つけていくところが出発点であるべきであるものの、教員側から課題を提示した後に調査、考察させる形で再度挑戦してみたい。現状では下記のような課題を各市町村で考えている。

- ・瀬戸市「陶磁器産業が衰退した跡地には、どのような土地利用がなされているだろうか。また、それが地域に与えている影響を悪影響も含めて考えてみよう」
- ・春日井市「高蔵寺NTで小学校の統廃合が進んでいる理由はなぜだろうか。また、そこから予想されるNTが抱える問題点とその解決策を構想してみよう」
- ・尾張旭市「矢田川流域の水田の多くが開発を免れている一方で、北部の森林であった丘陵地の開発は早くから進んだ。水田地域の開発はどの程度まで許容されるべきであろうか」
- ・名古屋市守山区は、「志段味地区の開発が遅れた理由はなぜだろうか。(交通が不便である、という答えを見越して)交通不便地域となった要因を探ろう。また、それを打開する方策はないだろうか」

7 参考文献

- ・『わたしたちの地理総合～世界から日本へ～』（二宮書店, 2021 年）
- ・「地理院地図」【ウェブページ】 (<http://maps.gsi.go.jp/>)
- ・「今昔マップ」【ウェブページ】 (<http://ktgis.net/kjmapw/>)
- ・「RESAS (地域経済分析システム)」【ウェブページ】 (<https://resas.go.jp/>)